

科目名	作品撮影		担当講師	田端 優一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態
期 間	7期・8期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
7期	実践を通してプロとして必要なテクニックを修得する。				
8期	2年間の集大成として制作力・技術力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月17日	授業ガイダンス～作品企画に沿った撮影機材の選定			
2	10月31日	ロケーション撮影及びスタジオ収録①			
3	11月14日	ロケーション撮影及びスタジオ収録②			
4	11月28日	ロケーション撮影及びスタジオ収録③			
5	12月12日	ロケーション撮影及びスタジオ収録④			
6	1月23日	ロケーション撮影及びスタジオ収録⑤			
7	2月6日	作品撮影 総まとめ講座～定期試験対策			
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	資料配付				
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作品編集		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態 実習
期 間	7期・8期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間 270 分	
期	修 得 目 標				
7期	映像表現の実践的なテクニックを修得する。				
8期	作品のクオリティアップを目指して制作をする知識、技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月24日	授業ガイダンス 作品制作 I 編集①(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)			
2	11月7日	作品制作 I 編集②(テロップ、MA、エンコード)			
3	11月21日	作品制作 II 編集①(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)			
4	12月5日	作品制作 II 編集②(テロップ、MA、エンコード)			
5	1月16日	作品制作 III 編集①(素材の取り込み、編集、カラーコレクション)			
6	1月30日	作品制作 III 編集②(テロップ、MA、エンコード)			
7	2月13日	試験対策			
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作品企画		担当講師	種田 俊二	
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	演習
期 間	7期8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
7期	番組の企画構成・台本の作り方を実践的に修得する③				
8期	番組の企画構成・台本の作り方を実践的に修得する④				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	情報番組を作ろう①(制作チームと技術チームに分ける)(各自特集企画を作成)			
2	10月25日	情報番組を作ろう②(制作チームはOPパートの台本作成)(技術チームは特集企画を集約&出演者決め)			
3	11月1日	情報番組を作ろう③(集約した特集企画の中から、番組最初に取り上げるネタを選ぶ)			
4	11月8日	情報番組を作ろう④(制作チームは前週選んだ企画を台本にする)(技術チームはリサーチ&出演者決め)			
5	11月15日	情報番組を作ろう⑤(集約した特集企画の中から、次のネタを選ぶ)			
6	11月22日	情報番組を作ろう⑥(制作チームは前週選んだ企画を台本にする)(技術チームはリサーチ&出演者決め)			
7	11月29日	情報番組を作ろう⑦(集約した特集企画の中から、3つ目のネタを選ぶ)			
8	12月6日	情報番組を作ろう⑧(制作チームは前週選んだ企画を台本にする)(技術チームはリサーチ&出演者決め)			
9	12月13日	情報番組を作ろう⑦(ここまで撮影した素材で、足りないものや撮影し直したいものがないかディスカッション)			
10	1月17日	情報番組を作ろう⑧(制作チームはエンディングパートの台本作成)(技術チームはリサーチ)			
11	1月24日	撮影した3つの企画を基に、番組全体の構成台本を作る①			
12	1月31日	撮影した3つの企画を基に、番組全体の構成台本を作る②、各班発表			
13	2月7日	優秀作品発表、総評			
14	2月14日	総復習 試験対策			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	選択 照明実習		担当講師	向出 敦子	
講師実務経験	照明会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態 実習
期 間	7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
7期	舞台照明の基本について修得する。				
8期	4Fホールのシステムと操作卓について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	照明機材やケーブルについて			
2	10月25日	機材の仕込み方について(点灯するまでの仕組み)			
3	11月1日	配線ケーブルや変換ケーブルを使用する仕込みについて			
4	11月8日	カラーフィルターやフォーカスについて			
5	11月15日	フロア仕込みについて			
6	11月22日	フォーカスの名称について			
7	11月29日	操作卓について			
8	12月6日	ケージの強弱や明りの組み合わせについて			
9	12月13日	シーンづくりについて			
10	1月17日	復習仕込み(過去図面を使用)			
11	1月24日	応用仕込み①			
12	1月31日	応用仕込み②			
13	2月7日	実技テスト対策			
14	2月14日	実技テスト(予定)			
15		※教科書「舞台テレビジョン照明」、筆記用具持参			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA(選択授業)		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	PA選択者		授業形態 実習
期 間	7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
7期	PAの機材、仕事内容を理解し基本的な取り扱いを修得する。				
8期	簡易PAシステムの設置 & モニターオペレートを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明			
2	10月25日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明			
3	11月1日	仕込み図を見ての仕込み作業			
4	11月8日	仕込み図を見ての仕込み作業			
5	11月15日	仕込み作業試験			
6	11月22日	仕込み作業試験			
7	11月29日	モニタースピーカ、AUX等の説明			
8	12月6日	エフェクター、AUX等の説明			
9	12月13日	仕込み図をプラスして仕込みの練習(SPX990)			
10	1月17日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
11	1月24日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
12	1月31日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
13	2月7日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
14	2月14日	後期試験対策他			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中15時間の欠席で修得不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 動画制作		担当講師	岡 宏樹	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	各専攻		授業形態 実習
期 間	7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
7期	映像作品の企画、撮影、編集について修得する。				
8期	与えられたテーマを映像で表現する表現力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	授業ガイダンス			
2	10月25日	カメラについて(設定やカメラワーク)			
3	11月1日	Premiereによるノンリニア編集について			
4	11月8日	映像の構成について			
5	11月15日	テーマに沿った映像制作 I ①(企画)			
6	11月22日	テーマに沿った映像制作 I ②(撮影)			
7	11月29日	テーマに沿った映像制作 I ③(編集、カラーコレクション)			
8	12月6日	テーマに沿った映像制作 I ④(テロップ、MA、完成)			
9	12月13日	テーマに沿った映像制作 II ①(企画)			
10	1月17日	テーマに沿った映像制作 II ②(撮影)			
11	1月24日	テーマに沿った映像制作 II ③(編集、カラーコレクション)			
12	1月31日	テーマに沿った映像制作 II ④(テロップ、MA、完成)			
13	2月7日	完成作品の試写、ディスカッション			
14	2月14日	試験対策			
15					
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	2年 REC選択実習		担当講師	金沢 琢司	
講師実務経験	株式会社スタジオバードマン勤務(平成5年～平成13年)				
対象学年	2 学年	対象専攻	A/B組選択		授業形態 実習
期 間	7～8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
7期	スタジオ録音機材の概要についての知識を修得する。				
8期	録音現場の基本作業を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	スタジオ内部システムの概要			
2	10月25日	調整卓の基本操作とマイクロフォンについて			
3	11月1日	外部エフェクタの概要(ダイナミック系)			
4	11月8日	外部エフェクタの概要(センドリターン系)			
5	11月15日	ProToolsの基本操作について			
6	11月22日	ブース内でのマイクセッティングについて			
7	11月29日	ブースからコントロールルームまでの信号の流れについて			
8	12月6日	録音実践1(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)			
9	12月13日	録音実践2(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)			
10	1月17日	録音実践3(マイクセッティング～回線チェック～調整～録音)			
11	1月24日	MIX実践1(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)			
12	1月31日	MIX実践2(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)			
13	2月7日	MIX実践3(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)			
14	2月14日	MIX実践4(録音素材を使い卓でのラフミックス～完パケ制作)			
15					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 カラーコーディネイト	担当講師	木村 真祐美
講師実務経験	カラーコーディネーター、カラーセラピスト		
対象学年	2 学年	対象専攻	各専攻
期 間	7期・8期	総授業回数	14 回
			1回あたりの授業時間
期	修 得 目 標		
7期	色の持つ効果を知り、仕事に役立つ実践的な色彩の基礎知識を修得する。色彩を身近に感じ、楽しみ興味を持って活用できることを修得する。		
8期	色に関する感性を磨き、自分の似合う色を発見し相手に与える印象を高め、ビジネスシーンで色彩活用ができることを修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	10月18日	授業ガイダンス	
2	10月25日	色の働きと色の見える仕組みについて	
3	11月1日	色彩基礎知識について	
4	11月8日	色の感情作用、知覚的効果について	
5	11月15日	色彩調和(配色テクニック)について	
6	11月22日	色とイメージの関係について①	
7	11月29日	色とイメージの関係について②	
8	12月6日	パーソナルカラー(似合う色)について①	
9	12月13日	パーソナルカラー(似合う色)について②	
10	1月17日	カラーセラピー(色彩心理)について①	
11	1月24日	カラーセラピー(色彩心理)について②	
12	1月31日	ビジュアルデザインと色彩の関係について	
13	2月7日	カラーマーケティングについて	
14	2月14日	定期試験対策	
15			
評価方法	定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)		
	成績評価方法:A		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	ストリーミング実習		担当講師	岡 宏樹/笹出 将太	
講師実務経験	映像制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ライティング、ビジュアルクリエイト各専攻	授業形態	実習
期 間	7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
7期	ライブ配信の特徴を理解し、オリジナルの配信番組を制作する技術を修得する。				
8期	配信番組の制作を通じてスタッフ間の連携を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	授業ガイダンス (流れ説明、チーム分け、専攻内&組み合わせ)			
2	10月19日	ライブ配信実践①(機材セッティング、役割ごとの動きの確認) 配信番組の企画作り			
3	10月26日	ライブ配信実践②(機材セッティング、役割ごとの動きの確認) 配信番組の企画制作			
4	11月2日	ライブ配信実践③(機材セッティング、役割ごとの動きの確認) 配信番組の企画制作			
5	11月9日	配信番組テーマ、概要確認			
6	11月16日	配信番組内容確定 チーム打ち合わせ、進行資料、配信素材等制作			
7	11月30日	ロケハン、進行資料、配信素材等制作			
8	12月14日	ライブ配信最終打ち合わせ			
9	1月18日	ライブ配信本番①			
10	1月25日	ライブ配信本番②			
11	2月1日	ライブ配信本番③			
12	2月8日	反省会			
13	2月15日	試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	78時間中27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作品制作			担当講師	高橋 学
講師実務経験	映画会社取締役、映像会社代表				
対象学年	2 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻	授業形態	実習
期 間	7期・8期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	270 分
期	修 得 目 標				
7期	作品作りに必要な実践的な知識を修得する。				
8期	作品作りに必要な実践的な技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	授業ガイダンス、前期の復習			
2	10月20日	プリプロダクション～ブラッシュアップ			
3	10月27日	プリプロダクション～ロケハン			
4	11月10日	プロダクション①～撮影			
5	11月17日	プロダクション②～撮影			
6	11月24日	プロダクション③～撮影			
7	12月1日	ポストプロダクション①～編集			
8	12月15日	ポストプロダクション②～編集			
9	1月19日	ポストプロダクション③～再撮影、追加撮影			
10	1月26日	ポストプロダクション④～編集、曲、CG、テロップ、効果ほか			
11	2月2日	ポストプロダクション⑤～ゼロ号試写、ブラッシュアップ			
12	2月9日	ポストプロダクション⑥～微調整編集			
13	2月16日	総括			
14					
15					
評価方法	作品提出評価(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	78時間中27時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	スチール実習Ⅲ		担当講師	高橋 吉之	
講師実務経験	カメラ修理会社、写真撮影および編集会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイト専攻		授業形態
期 間	7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
7期	スタジオ撮影を中心に様々な表現手段、撮影技法を学ぶ				
8期	様々な撮影条件に応じ、撮影者の意思、意図を自身で表現できるようにする				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月14日	授業ガイダンス、前期の振り返り			
2	10月21日	スタジオ撮影①テーブルフォト、電球、LEDライティング			
3	10月28日	テーブルフォト実践			
4	11月4日	スタジオ撮影②静物(ブツ撮り)、ソフトボックス			
5	11月11日	ブツ撮り実践			
6	11月18日	スタジオ撮影③ポートレート撮影、大型ストロボ			
7	11月25日	ポートレート撮影実践			
8	12月2日	ストロボの利点と弱点、使い分けについて			
9	12月16日	大型ストロボによるスタジオ内外での撮影、静物、人物の考え方の違いについて			
10	1月20日	作品企画立案、ロケハン			
11	1月27日	作品制作①			
12	2月3日	作品制作②			
13	2月10日	作品セレクト及び提出			
14	2月17日	作品講評および復習、試験対策			
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント都度配布				
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年A組、B組		授業形態 講義
期 間	7期・8期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
7期	社会人に必要な基礎知識を修得する。				
8期	社会人に必要なビジネスマナーを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月14日	新社会人の心得			
2	10月21日	新入社員 仕事の進め方について			
3	10月28日	各種保険、年金、税金の概要①			
4	11月4日	各種保険、年金、税金の概要②			
5	11月11日	名刺交換について			
6	11月18日	仕事の目標設定について			
7	11月25日	業界の仕事の繋がりについて			
8	12月2日	来客対応の基本とコツ			
9	12月16日	新社会人の心得①			
10	1月20日	新社会人の心得②			
11	1月27日	新社会人の心得③			
12	2月3日	新社会人の心得④			
13	2月10日	新社会人の心得⑤			
14	2月17日	総まとめ			
15					
評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	14時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	國本 昌秀	
講師実務経験	元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態 講義
期 間	後期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
7期	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動への活用法を修得する。				
8期	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月14日	授業ガイダンス 習得目標について			
2	10月21日	岸田政権就任1年			
3	10月28日	直近のニュースについて			
4	11月4日	直近のニュースについて			
5	11月11日	直近のニュースについて			
6	11月18日	直近のニュースについて			
7	11月25日	直近のニュースについて			
8	12月2日	2022年ニュース振り返り①			
9	12月16日	2022年ニュース振り返り②			
10	1月20日	2023年はどんな年			
11	1月27日	直近のニュースについて			
12	2月3日	直近のニュースについて			
13	2月10日	直近のニュースについて			
14	2月17日	講義振り返り			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業でプリント配布				
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				